

令和2年度

生活支援体制整備事業業務委託にかかる実施報告
&
生活支援コーディネーター活動報告



高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくために



社会福祉法人 蓮田市社会福祉協議会

1. これまでの事業経過

平成28年4月から蓮田市社会福祉協議会にて業務受託。第1層生活支援コーディネーターを配置。

令和元年4月から第1層生活支援コーディネーターに加え、第2層圏域(中学校区)の地域活動を支援する第2層生活支援コーディネーターを配置し、地区協議体運営を支援。

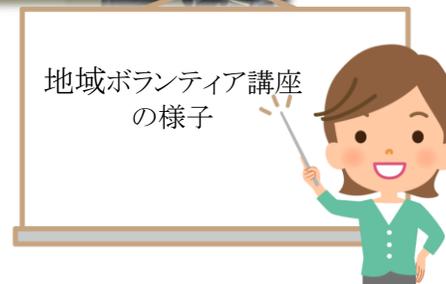
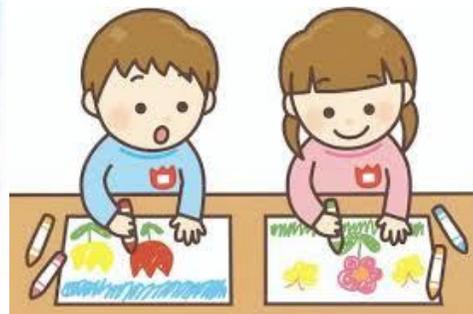
2. 令和2年度の業務内容について(報告)

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、事業を実施しました。

(1) 生活支援の担い手の養成、サービスの開発等の資源開発

【目標】地域を担う人を育て、多様な地域活動を推進します。

内容	成果・評価
<ul style="list-style-type: none">・地域ボランティア講座は感染症対策として時間短縮、保険加入内容や希望による活動見学体験等の内容を調整して開催しました。・生活支援サービス従事者養成研修に協力しました。・民間企業、新たな特技ボランティアグループの協力によるボランティア体験を企画実施しました。・福祉教育では、協議体参加の医療法人が地域の福祉教育の支援に参加しました。コロナ禍に基づいた内容となり、パンフレットの作成や視聴覚機材の貸出などを行いました。・幼少児童とその母親を中心としたボランティアグループ「劇団さいのこ」によるコロナ禍のメッセージ、絵画作品を展示、HP、広報に掲載しました。	<ul style="list-style-type: none">・地域ボランティア講座では、体験実習が希望制であり内容が制限されていた為、活動へ繋げるきっかけ作りが希薄でした。現活動者の参加は、地域活動への理解を深め、スキルアップにつながりました。・参加者からボランティアグループへの加入、地域活動への協力者登録につながりました。・民間活力や社会貢献活動を本事業に取り組むに当たってはコマーシャル等も課題になります。事業主旨、取組目的の共通認識を構築していません。・次世代の担い手育成の視点から多世代に働きかけ、活動内容の広がりにつながっています。・子育て世代へもボランティアに対する意識を深めました。



(2) 関係者間のネットワーク構築(各種会議への出席及び第1層協議体の参加・運営補助を含む)

【目標】多様な主体と情報交換、意識共有を図り、関係者間のネットワークを強化します。

内容	成果・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議(課題抽出型、自立支援型)、民生委員児童委員協議会定例会、見守り支援ネットワーク会議等に参加、出席し、地域の状況や取組を共有しました。また、地域ケア会議(課題抽出型)では振り返り会が開催されました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議では事例検討からニーズ把握やサービス資源活用の視点を広げ、地域活動への可能性を検討しました。課題抽出型の振り返りにより、会議と事業、活動の双方が地域毎の課題を再認識し、共有し取り組む相乗効果が見られました。 ・関係機関の会議等に参加し、見守り活動の視点、生活支援や困りごとの現状等を共有しネットワーク強化が図られました。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での地域活動に向けて、多様な主体の活動状況を確認し、注意事項等の情報提供ならびに意見交換を行いました。 ・市協議体の運営に参画しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン活動2か所が終了する等、コロナ禍での運営困難が課題となりました。 ・市協議体では集いの場・通いの場マップの更新作業が進められました。

(3) 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング(第2層協議体の運営及び連携・協働に関することを含む)

【目標】地域ニーズを把握し、生活支援体制サービスの基盤をつくります。

内容	成果・評価
<p>【蓮田南中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区協議体を2回開催しました。運営について、蓮田よつば病院との意見交換、打合せを綿密に行いました。 ・他市の取組や厚労省の特設WEBサイトなど認知症に関する情報収集を行いました。 <p>【蓮田中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区協議体を2回開催しました。 ・協議体メンバーの変更があり、訪問し事業説明を行いました。 ・取組み案に応じた下見から地図を作成し、地区協議体で提示しました。 <p>【黒浜中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区協議体を2回開催しました。 ・地域の資源、魅力の情報収集のため、活動視察などを積極的に行いました。 ・桜台地区で芸術アートを特技とするグループが立ち上げられました。 <p>【黒浜西中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区協議体を1回開催しました。 ・若年性認知症の事例では関係機関との連携をすすめました。 <p>【平野中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区協議体を3回開催しました。 ・協議体メンバーより高齢者の相談(見守り、認知症対応)があり、認知症の課題や施策について情報収集をすすめました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区協議体のテーマが決まり、メンバーのテーマに関わる体験まで踏み込むことができました。現段階では蓮田よつば病院が中心となっています。今後はメンバーが地域の実態に沿って進めていきます。 ・地区協議体の取組み目標が決まり、段階を経て話しあっています。コロナ禍で引きこもる状況と地域資源が結びつくような活動の方向性になりました。 ・地区協議体メンバーと顔の見える関係を築き、ネットワークが広がりました。 ・メンバーのいないエリアがあるのでそうしたエリアの人とのつながりも必要になっています。 ・アンケートからはメンバーの地域活動への意見等を多く聞くことが出来ました。 ・個別支援の事例から関係機関との連携をすすめ、地域課題の解決につなげていく取組が出来ました。 ・地区のつながりを強く感じられるエリアで、協議体は活発な意見があり、認知症に関する勉強会に向けてのアンケートからメンバーの活動イメージを膨らませることが出来ました。

季節の魅力発見シート

別紙 2

蓮田南中学校地区協議体

～発見シート作成について～

前回の協議体で、メンバーより情報を書き出し整理のご提案をいただきました。お住まいの地区をはじめ、黒浜中学校地区の全域を対象に分かる範囲で季節の魅力をお伝えください。次回の協議体で魅力について話し合いたいと思います。3月31日(木)までに返信用封筒にてご返信をお願いします。(記入例)

季節	場所	魅力	その他
通年	環境学習館	野鳥などに関する資料がある	最寄りのバス停から距離がある

季節	場所	魅力
春		

黒浜中学校地区協議体

平野中学校地区協議体



蓮田中学校地区協議体

見沼代用水ウォーキングのアンケート (蓮田中学校地区協議体)

〇活動をイメージしてご意見をお聞かせください

確認項目	12/10協議体での主な意見	左記への意見等
・場所(コース)	緩瀬～上関戸の間(別紙地図参照)	
・時間	1000～1200の間	
・頻度	月1回	
・形態	スタートやゴール、参加時間などは自由	

〇以下について、ご意見をお聞かせください

想定される検討項目	検討項目への対策、対応の意見等
・トイレの備え	
・物の運搬	
・事故等への準備	
(その他)	

(4) 生活支援体制整備事業の周知

【目標】事業の目的、取組等を広く発信し、周知啓発をすすめます。

内容

・ホームページで、年度当初は令和元年度活動報告パンフレット、春には地区の魅力を発信するニュースレター、秋には地区協議体の取組経過を伝える協議体だよりを掲載し、事業を周知しました。

・埼玉県プラチナサポートショップ事業において、配達・訪問サービス便利帳掲載店の情報開示調査を実施し取りまとめ、情報提供に協力しました。

・集いの場、通いの場マップ更新に向けて情報収集、業者選定、校正作業をすすめました。

埼玉県ホームページより引用

成果・評価

・紙面の貼付、掲示に加え、SNSの活用も視野に入れた幅広い年齢層、広範囲に向けた周知活動に取り組み、市外からの問い合わせがあり、SNSのアンテナの高さが見られました。

・情報発信による事業や活動の見える化は、活動者のモチベーション維持、アップにつながりました。

・県プラチナサポートショップ事業については全36件中、26件の掲載希望回答があり、県作成ホームページへの掲載が予定されています。

・集いの場・通いの場マップは、中学校区毎の紙面校正、地域活動紹介、活躍の場ページ追加等の校正作業を進めました。

(5) その他必要な事項

【目標】生活支援コーディネーターのスキルアップを図ります。

内容	成果・評価
<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県や埼玉県社会福祉協議会等の主催する研修会や会議に参加し、研修内容等を生活支援コーディネーター間で共有しました。 生活支援コーディネーター定例会を月2回開催して事業の進捗状況や連絡調整を行いました。また、連絡会議を隔月毎に開催して、活動や取組に関する意見交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット環境を整備し、zoom会議、オンライン研修等に積極的に参加することが出来ました。 定例会や連絡会議等を通じて、生活支援コーディネーターのスキルアップにつながりました。

～令和3年度 事業実施計画～

業務項目

- 生活支援コーディネーターの配置(第1層、第2層)
 - 生活支援の担い手の養成、元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保
 - 高齢者の日常生活ニーズの把握と見える化
 - サービスの提供状況の把握と見える化及び創出
 - サービス提供主体等の関係者のネットワークの構築
(各種会議への出席や事業の周知、協力依頼などの働きかけを含む)
 - 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング

- 協議体の設置及び運営等
 - 第1層協議体の設置・運営補助
 - 第2層協議体の設置・運営

(3) 生活支援体制整備事業の広報

(4) その他必要な事項



地域住民の皆さんが中心となる**地域づくり**や、**支え合い活動**をバックアップする人(つなぐプロ)



地域の**困りごと**に対して、**支え合いの地域づくり**を形にするため、**話し合い**や**情報共有**、**連携を進める集合体**

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくためには・・・



具体的内容

- ボランティア講座を開催します。高齢者などを活動につなげ、活動の場を提供します。
- 多様な支援を通じてニーズを把握します。
- 既存、新規の地域資源、地域支援を整理します。
- 相談、依頼等をサービスにつなげます。
- 地域ケア会議等に参加します。
- 第1層協議体の設置・運営を担当課と連携し補助します。
- 第2層協議体を設置し、円滑に運営します。
- 事業の取組み等を広く発信します。
- 生活支援コーディネーター間で情報共有し、スキルアップを図ります。

【到達目標】 地域の特性を踏まえた高齢者の生活支援体制の充実、強化を図ります。